

平成29年度 上田南幼稚園 「園の自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動「歩育」・「運動遊び」を通じ、心身共に逞しい子を育てる。

2. 本年度の重点目標

- ①挨拶は、コミュニケーション最初の入り口。自ら進んで挨拶ができるよう取り組んでいます（挨拶名人のバッジや保育者の関わり）
- ②お友だちと元気に仲良く遊べる子どもの育てるため「歩育」・「運動遊び」を重点として実施し心身の成長を促します
- ③友だちに優しく接することが出来る子どもの育成のため、読み聞かせを多く行うことで、情緒の安定を図ります

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・運動遊びや保護者の評価（アンケート）から、子どもたちのために頑張っているということが伺われる。今後も益々取り組みを深めてほしい。
- ・いま、スマホやゲームなど、子どもたちが身近に触れるものになっている。幼児期には絵本などたくさん触れるようにしてほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園児数からも、園での取り組みが評価されていると思う。今後も、「運動遊び」など、健康面の向上を図るとともに、保護者から信頼される園として園運営に努めてほしい。